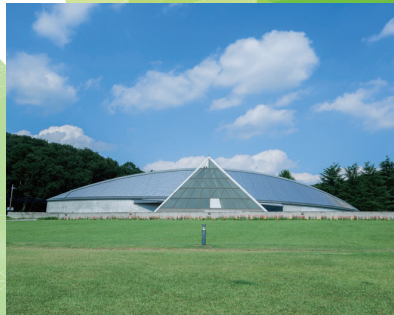


2023 MIDORI CITY

みどり市都市計画 マスタープラン

都市計画に関する基本的な方針

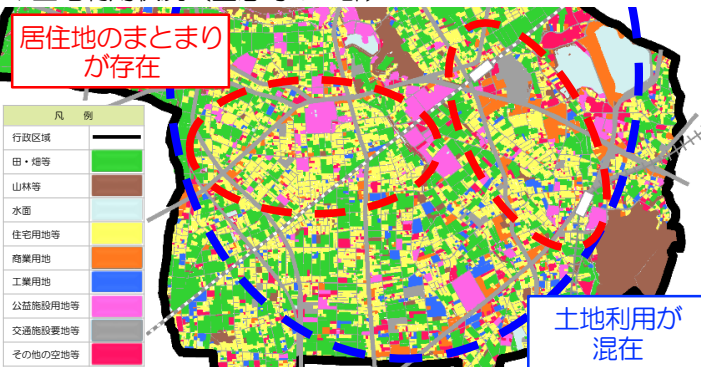
概要版



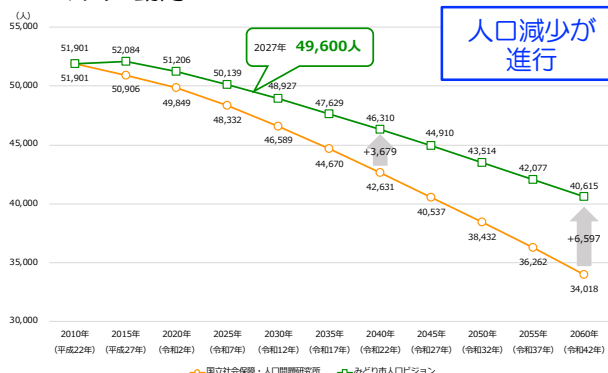
土地利用や生活環境

いまの状況は…

◆土地利用状況（笠懸町の一部）



◆人口動向



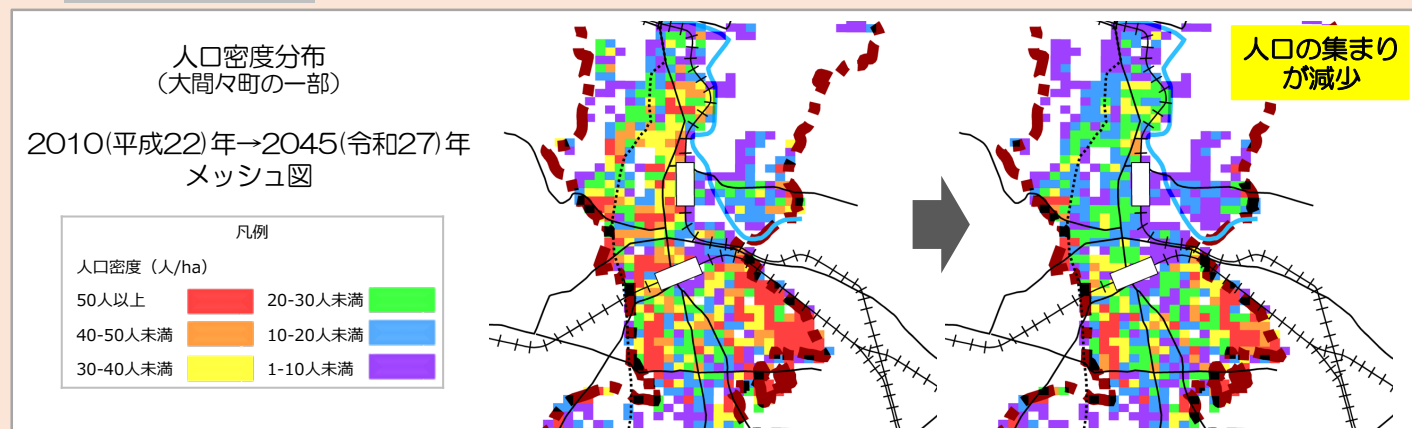
強み

まとまりのある居住地が存在する、地域ごとに異なる魅力（豊かな自然、歴史や伝統文化、生活利便性など）が存在する、など

弱み

土地利用が混在、人口減少が進行、人口の地域格差が発生、空き家空き地が増加 など

➤ このままでは…



人口密度が低い宅地が広がり、新しい宅地の多くが農地と混在

将来に向けて必要なこと

適正な土地利用、建物利用による暮らしやすさの向上

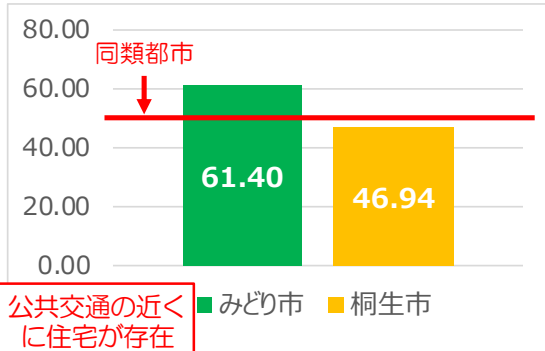
土地利用に関する課題

- ◆まちのまとまりの維持
- ◆歩いて暮らせる環境の整備 など

道路と公共交通

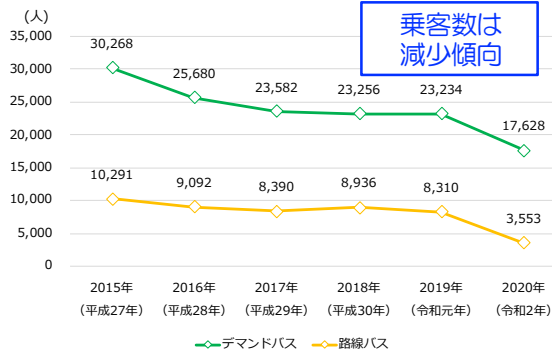
いまの状況は…

◆駅やバス停に近いエリア※にある住宅



※駅までの1km圏内、もしくはバス停まで200m圏内の住宅数の割合

◆バス乗客数の推移



◆渋滞状況



慢性的に渋滞が発生

強み

鉄道と鉄道駅が多い、東西の地域をつなぐ道路や交通の移動手段が多い など

弱み

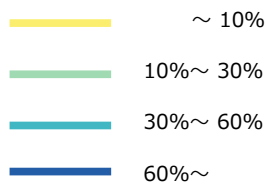
慢性的に渋滞が発生、公共交通の利用者が減少、自動車に依存した生活 など

このままでは…

鉄道断面トリップ数※
増減率

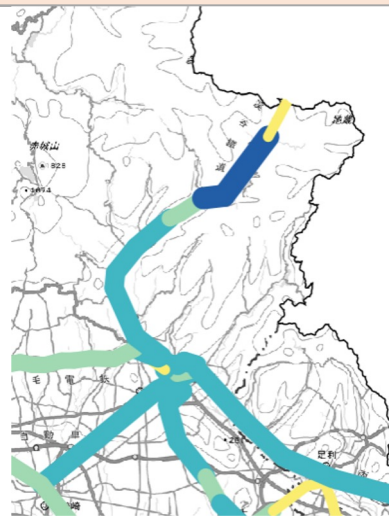
2015(平成27年)→2035(令和17年)

鉄道断面トリップ数の減少率



出典：2018(平成30年)
群馬県交通まちづくり戦略

※鉄道断面トリップ数：駅間別に鉄道を利用して移動した人の数



利用者の減少で
鉄道経営が悪化

- 東毛地域、鉄道末端区間では減少率が大きく、郊外部から鉄道の存続が困難になる

公共交通に恵まれているにもかかわらず、将来の移動手段の確保が困難

将来に向けて必要なこと

公共交通の利用促進、運行本数を増やすなど公共交通のサービス水準の向上、観光等による新たな利用者拡大

道路と公共交通に関する課題

- ◆交通拠点の機能強化
- ◆地域間の連携強化 など

地域の魅力と活力

いまの状況は…

◆市民意向調査 【重要度と満足度】

◆南部地域【笠懸全域・大間々南部】

高 ↑ 満足度 ↓ 低	【維持】	【重点維持】	強み
	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな森林が広がる自然溢れる風景 広大な農地が広がるのどかな風景 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の買物の利便性 保健医療の施設整備やサービス 下水道整備(大) 	弱み
【改善】	【重点改善】		
	<ul style="list-style-type: none"> バスの利便性 鉄道の利便性 企業誘致 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道整備 公園・緑地・広場整備 下水道整備(笠) 	

低← 重要度 →高

身近な商店街



歩道のない道路



◆北部地域【東全域・大間々北部】

高 ↑ 満足度 ↓ 低	【維持】	【重点維持】	強み
	<ul style="list-style-type: none"> 広大な農地が広がるのどかな風景 観光施設の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな森林が広がる自然溢れる風景 生活道路の整備 福祉サービス 	弱み
【改善】	【重点改善】		
	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店の充実 バスの利便性 企業誘致 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の買物の利便性 鉄道の利便性 バリアフリーの整備 	

低← 重要度 →高

賑わう観光施設



少ない列車本数

花輪～桐生方面
78分/本
約6時～20時半に11本
花輪～間藤方面
80分/本
約7時半～22時に11本

強み

豊かな自然資源、富弘美術館などの観光資源が豊富 など

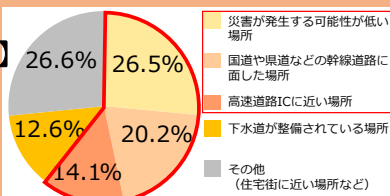
弱み

生活サービス施設が不足、鉄道が不便 など

◆事業者意向

【重視する立地環境】

重視する一団エリアが存在



強み

ながめ余興場、岩宿遺跡などの観光資源が豊富、幹線道路沿いの多くの商業施設、新たな幹線道路整備 など

弱み

污水处理人口普及率の低水準、鉄道・バスが不便、歩道のない道路が多い、公園が不足 など

このままでは…

◆南部地域【笠懸全域・大間々南部】

居住や生活に必要な施設が分散し、地域の活力や地域間の連携が衰弱

広域的な交通拠点となり、まちの顔となる鉄道駅や周辺地域のポテンシャルが低下

地域の想いが込められた歴史的な街並みや伝統文化が遊休

幹線道路の整備により人流・物流が盛んになり沿道での開発ポテンシャルが高くなる一方で乱開発が発生

◆北部地域【東全域・大間々北部】

地方への移住・観光ニーズが高まる中、生活サービスや交通の利便性が不十分でチャンスは消失

将来に向けて必要なこと

全域

土地利用の混在や無秩序な市街化の広がり等の抑制

岩宿駅・阿左美駅周辺

充実した交通機能を生かしたまちづくり

大間々本町通り周辺

風情のある街並みや地域資源を生かしたまちづくり

渡良瀬幹線道路沿道

広域幹線道路の整備による乱開発を防ぎながら、幹線道路を生かしたまちづくり

豊かな自然と観光資源を生かしたまちづくり

各地域の魅力等に関する課題

◆南部地域【笠懸全域・大間々南部】

全域

生活環境の改善

岩宿駅・阿左美駅周辺

交通環境の改善など

大間々本町通り周辺

商店街の存続など

渡良瀬幹線道路沿道

産業の発展など

◆北部地域【東全域・大間々北部】

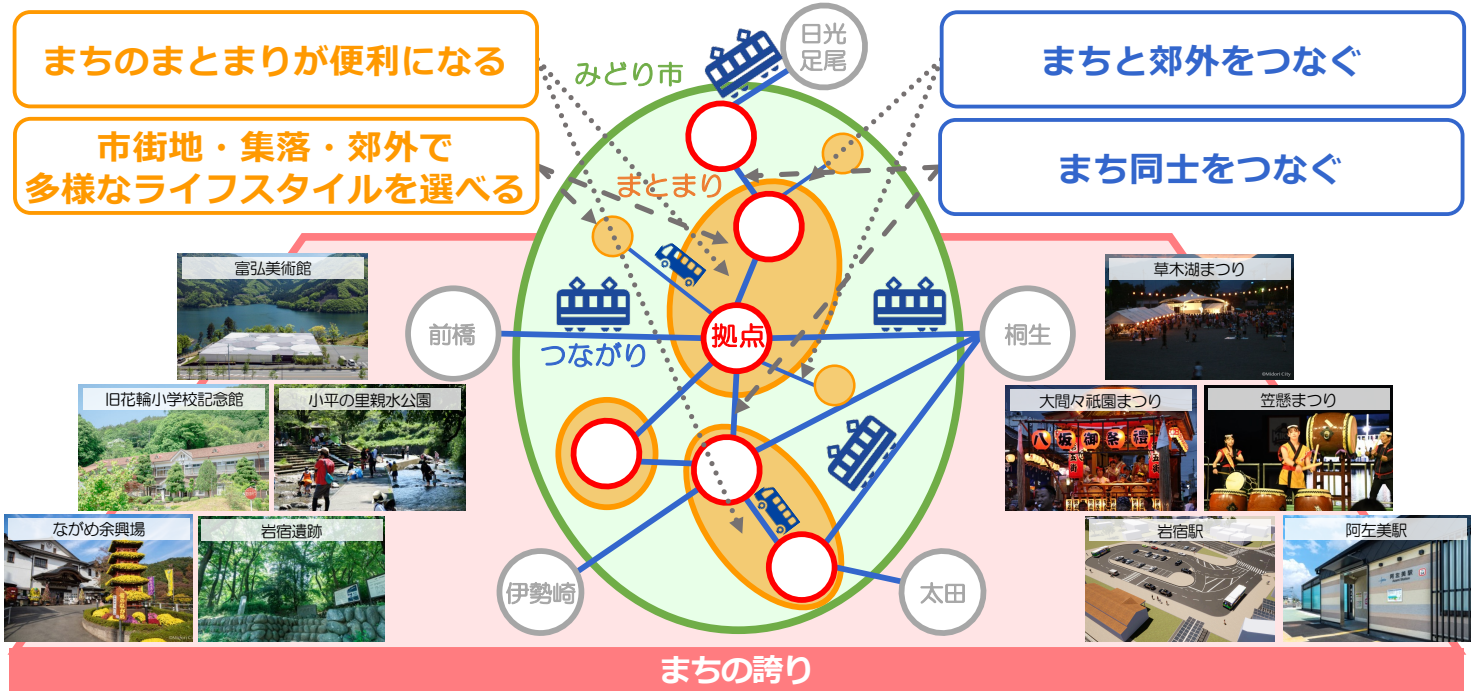
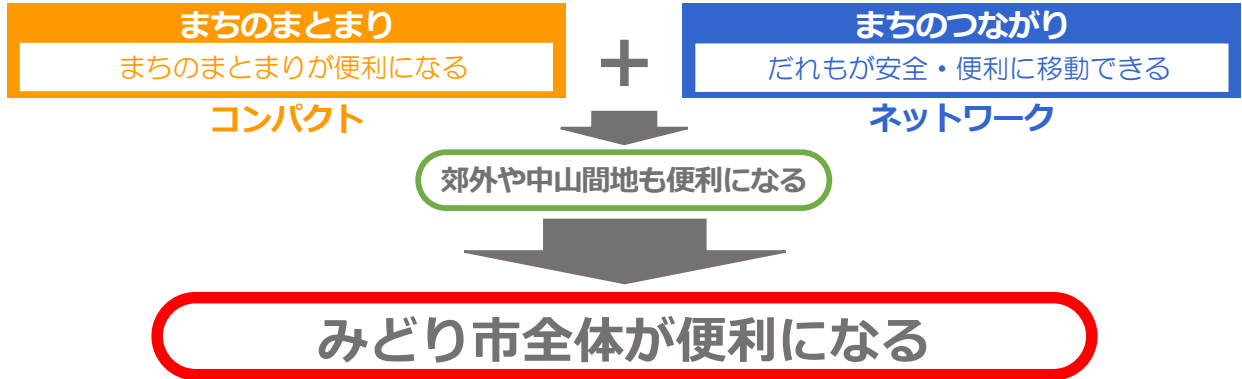
観光の活性化など

まちづくりの目標（将来の姿）

◆ 将来都市像

輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市

◆ 目指すべきまちの姿



◆ まちづくり基本目標

目標1 まちのまとまりで輝きながら暮らせるまちづくり

年齢や障がいの有無に関係なく、すべての人々が快適・安全・安心に暮らしていくことができるまちづくりを進めます。

目標2 まちのつながりによる一体的なまちづくり

地域の連携をさらに強固にし、それぞれの特性と資源を生かしながら、市民と行政が協働したみどり市としての一体的なまちづくりを進めます。

目標3 輝くみどりと市街地が共生するまちづくり

本市の貴重な財産である豊かなみどりを保全しながら、多くの人々が生活して活動する市街地を計画的に形成し、それらが共生するまちづくりを進めます。

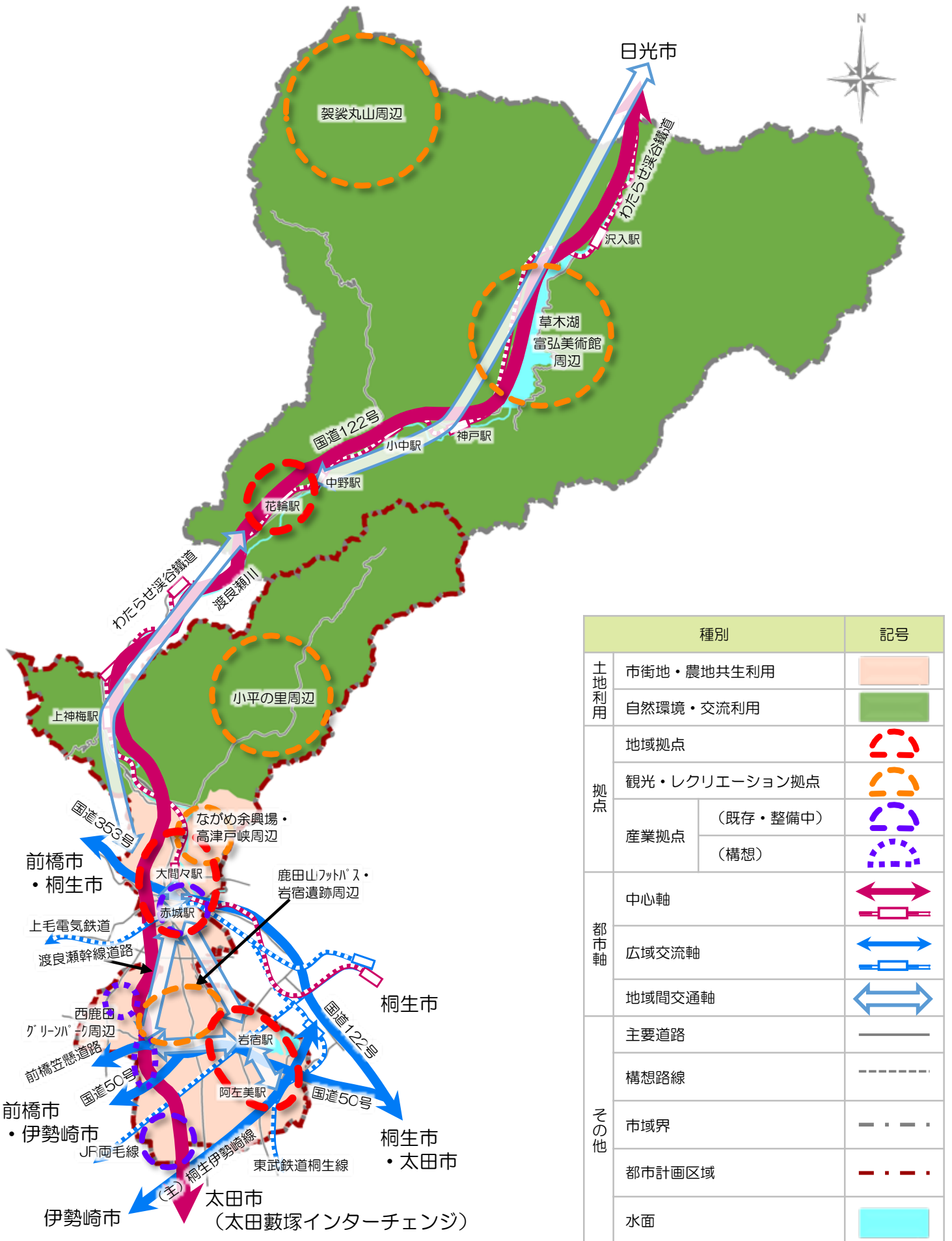
目標4 多くの人々が集まり活力のあるまちづくり

恵まれた自然資源や歴史資源などを活用しながら、人々が活動しやすい場の整備を進め、多くの人々が居住するだけでなく、訪れることで交流・活力が生まれるまちづくりを進めます。

目標5 明るい未来につながるまちづくり

災害に強く、将来にわたって魅力と活力のあるまちを形成し、後世に引き継いで地域を誇りに思えるまちづくりを進めます。

◆ 将来都市構造図



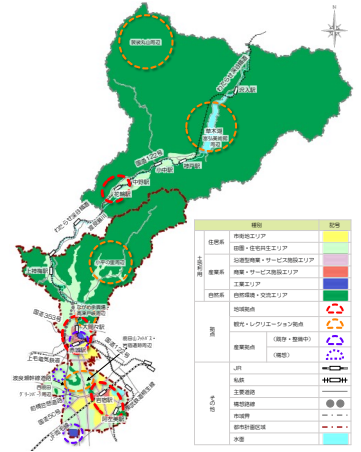
まちづくり基本方針



土地利用の方針

方針 『まちの特性に合わせたコンパクトで暮らしやすいまちの形成』

- 施策1 まちのまとまりを維持する
- 施策2 多様なライフスタイル等を選ぶまちにする
- 施策3 歩いて暮らせるまちにする
- 施策4 安全安心なまちにする



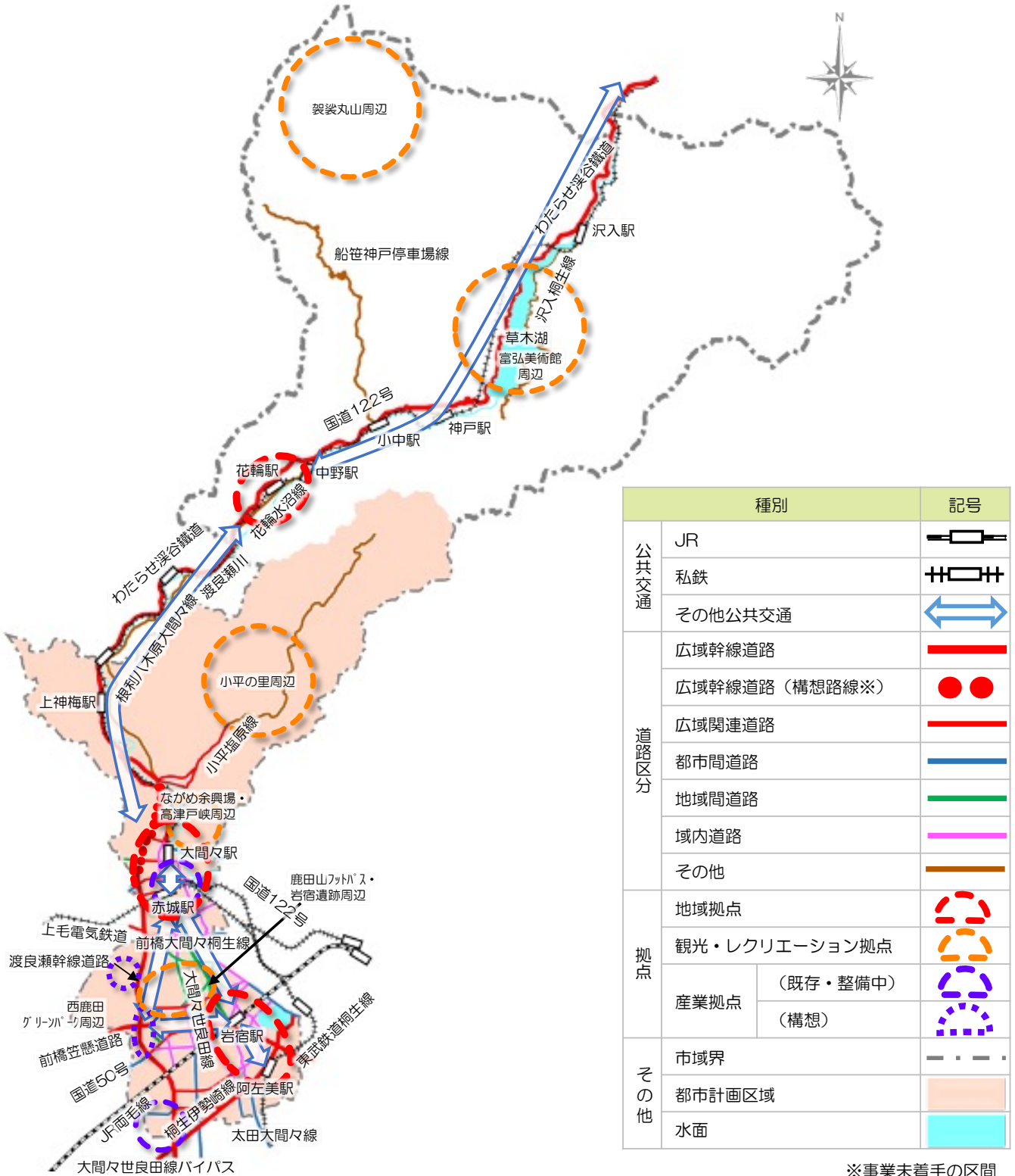
分類	エリアイメージ	ライフスタイル等のイメージ
住居系	市街地エリア 住宅街周辺（大間々町） 快適で利便性の高い良質な住宅地	日常の買い物や病院が身近にある便利な場所で暮らしたい 市内外に通勤・通学がしやすい場所で暮らしたい 気軽に歩いて日常生活ができる場所で暮らしたい 昔から住み慣れたまちなかで暮らし続けたい 周りの住民と調和しながら事業がしたい
	田園・住宅共生エリア 笠懸大田んぼ周辺 農地の保全と農業の活性化 農業と調和したゆとりある住宅地・農村集落	郊外で広い庭付きの戸建て住宅に住みたい 周りの風景や環境が良い場所で暮らしたい 広くて余裕のある場所で暮らしたい 農地から自宅、出荷先まで、時間をかけずに移動したい 昔からの農地で安心して耕作ができる環境で暮らしたい 周りの住民と調和しながら農業がしたい
産業系	沿道型商業・サービス施設エリア 県道前橋大間々桐生線 幹線道路の沿道で生活に便利なエリア	移動が便利な場所で買い物がしたい 周りのまちから利用されやすい場所に店を出したい
	商業・サービス施設エリア 大間々本町通り（国道122号） 商業・業務系施設により、市の活力を生み出す本市の中心的なエリア	にぎわいのある市街地で色々な買い物や遊びを楽しみたい 「まちの顔」となる魅力的な場所を誇りたい 仕事や学校帰りに気軽に買い物や遊びを楽しみたい 近所の人々が気楽に買い物できる店を出したい 歴史あるまちなかを観光したい
	工業エリア 既存工場周辺 一体的な工業系土地利用が展開されているエリア	幹線道路からのアクセス性が良い場所に工場を建てたい 災害が発生する可能性が低い場所に事務所を建てたい
	自然環境・交流エリア 草木湖アクティビティ 豊かな自然資源の適正な保全と、自然環境を活用した交流の場の形成	自然に囲まれたのどかな場所で暮らしたい 老後も今と変わらずここで暮らしたい



交通体系の整備方針

方針 『地域の連携強化と市民生活に適した交通ネットワークの形成』

- 施策1 すべての人が使いやすい公共交通にする
- 施策2 まちのまとまりをつなぐ「安全で速い、誘客する」道路にする
- 施策3 生活道路の交通を集約し、安全な道路にする



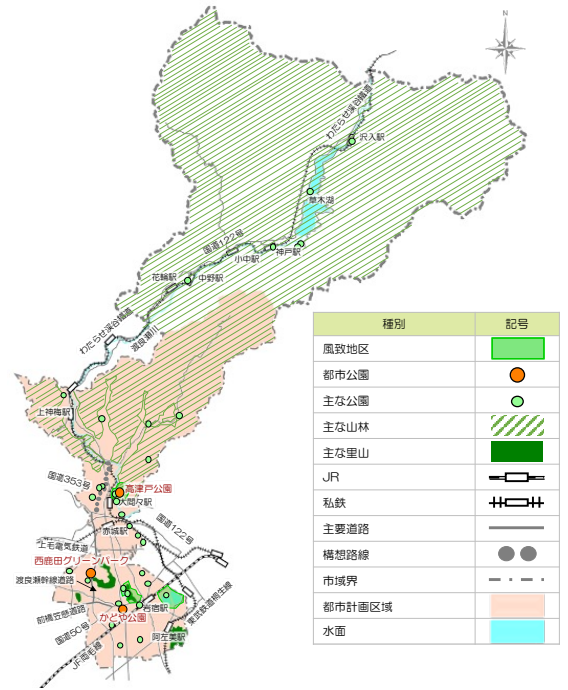
まちづくり基本方針



公園緑地の整備方針

方針 『公園や緑地等の充実化と適正な山林等の活用』

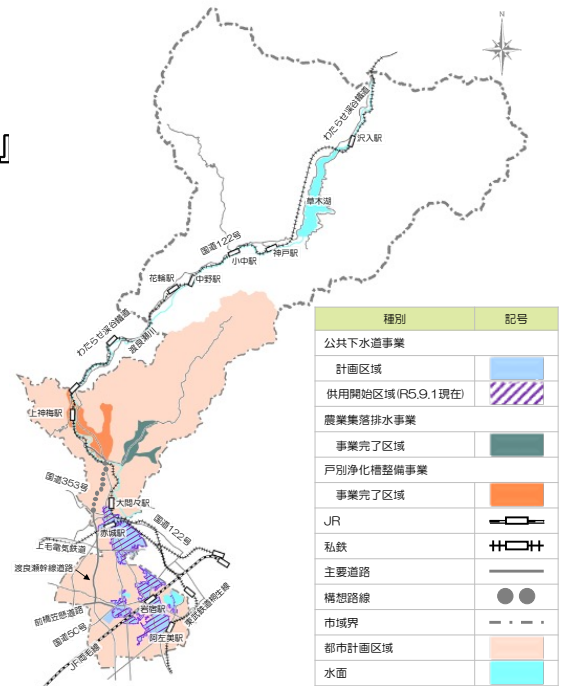
- 施策1 地域の状況と多様なニーズに応じた公園にする
- 施策2 景観や観光等に配慮した緑地にする
- 施策3 豊かな緑が広がる住環境をつくる



河川・下水道の整備方針

方針 『都市化に合わせた総合治水対策と生活基盤の整備推進』

- 施策1 安全かつ美しい河川環境をつくる
- 施策2 適正な汚水処理を進める
- 施策3 雨水排水対策を進める



その他の都市環境の整備方針

方針 『安全かつ快適な生活を送るための環境整備の推進』

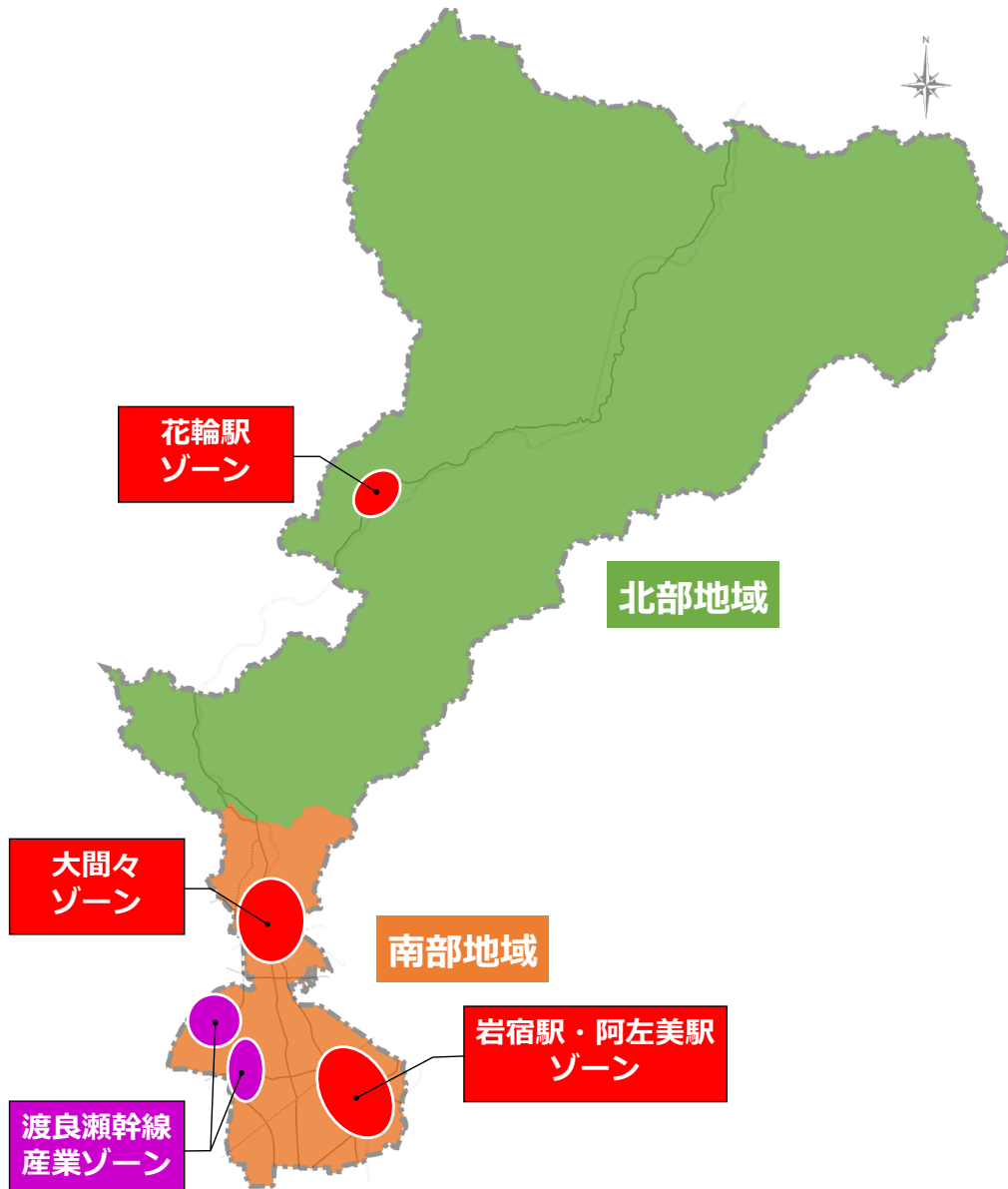
- 施策1 災害時の安全性を高める
- 施策2 観光交流を活性化する
- 施策3 公共施設等を再編する
- 施策4 歴史文化を保存し活用する
- 施策5 空き家空き地の活用を促進する
- 施策6 商店街を再生する

◆ 地域区分の考え方

地域区分については、地形や市街化の状況から「北部地域（東全域・大間々北部）」と「南部地域（笠懸全域・大間々南部）」に区分します。

また、将来都市像の実現に向けて特に「重要性」が高い、現時点で早急に対応が求められている施策、他分野にわたる課題で相乗効果が期待される施策、先導的で波及効果が期待される施策などを優先的に取り組むべき地域として「重点施策展開ゾーン」を位置づけます。

(地域区分)	(重点施策展開ゾーン)
北部地域 (東全域・大間々北部)	花輪駅ゾーン
南部地域 (笠懸全域・大間々南部)	大間々ゾーン
	岩宿駅・阿左美駅ゾーン
	渡良瀬幹線産業ゾーン



南部地域

岩宿遺跡



はねたき広場



大間々博物館



将来に向けて必要なこと

住む場所や働く場所、訪れる場所が充実し、交通利便性が高い本地域の強みを活かして快適な生活を送るために、土地利用の混在や無秩序な市街化の広がり等を抑制する取り組みが必要です。

将来像

住む・働く・訪れる場所を選べるアクセス性に優れた居心地のよいまち

将来イメージ

- 生活に身近な道路交通環境が整備され、誰もが安全で快適に暮らしている
- まちなかのオープンスペースにベンチがあり気軽に休憩することができる
- 親子連れが身近な公園で遊び、里山では老若男女がウォーキングを楽しんでいる
- 多くの人々がスポーツや運動に親しみ、活動的になることで健康寿命の期間が延びている

地域づくりの方針

🏠 まちのまとまりの維持

- 「みどり市立地適正化計画」の策定等により生活の拠点に居住や都市機能を誘導しコンパクトなまちづくりを推進します。
- コンパクトなまちづくりを通じて脱炭素社会づくりを促進します。
- 無秩序な市街化の進行や用途の混在を防ぐため、土地利用規制の導入等によりメリハリのある土地利用の誘導を図ります。
- 渡良瀬幹線道路等の広域幹線道路の交通利便性を生かしたまちづくりを進めるため、「みどり市立地適正化計画」の策定や沿道への土地利用規制の導入等により計画的な土地利用の誘導を図ります。
- 「空き家利活用促進事業」などにより使用者の意向を反映した空き家の改修を支援します。
- 「空き家バンク制度」による物件紹介を通じた移住定住を促進します。
- 「みどり市景観計画」により周辺の土地利用や自然と調和した良好な景観を形成することで、地域全体の魅力を向上し、地域の活性化を図ります。

🏠 営農環境と居住環境の調和

- 土地利用規制の導入や「みどり市景観計画」により農業と調和した居住環境の確保を図ります。
- 「人・農地プラン推進事業」による担い手の要望に沿った農地の保全や適切な土地利用により営農環境の向上を図ります。

🚗 交通結節機能の強化

- 「みどり市地域公共交通計画」の策定等により、拠点と周辺都市をつなぐ交通ネットワークを構築します。
- 「みどり市道路・治水プログラム」に基づき道路整備を推進します。

🌳 公園の整備と再生

- 「みどり市公園・広場適正配置計画」の策定等により市民の意向を反映した活用度の高い公園への再編を図ります。
- 西鹿田グリーンパークの整備を推進します。

🌳 自然環境の保全・活用

- 鹿田山周辺の自然環境の保全とフットパスを活用した憩いの空間を創出します。

🚰 生活環境の改善

- 下水道と合併処理浄化槽等のベストミックスにより効果的に汚水処理環境整備を推進します。

👤 観光の活性化

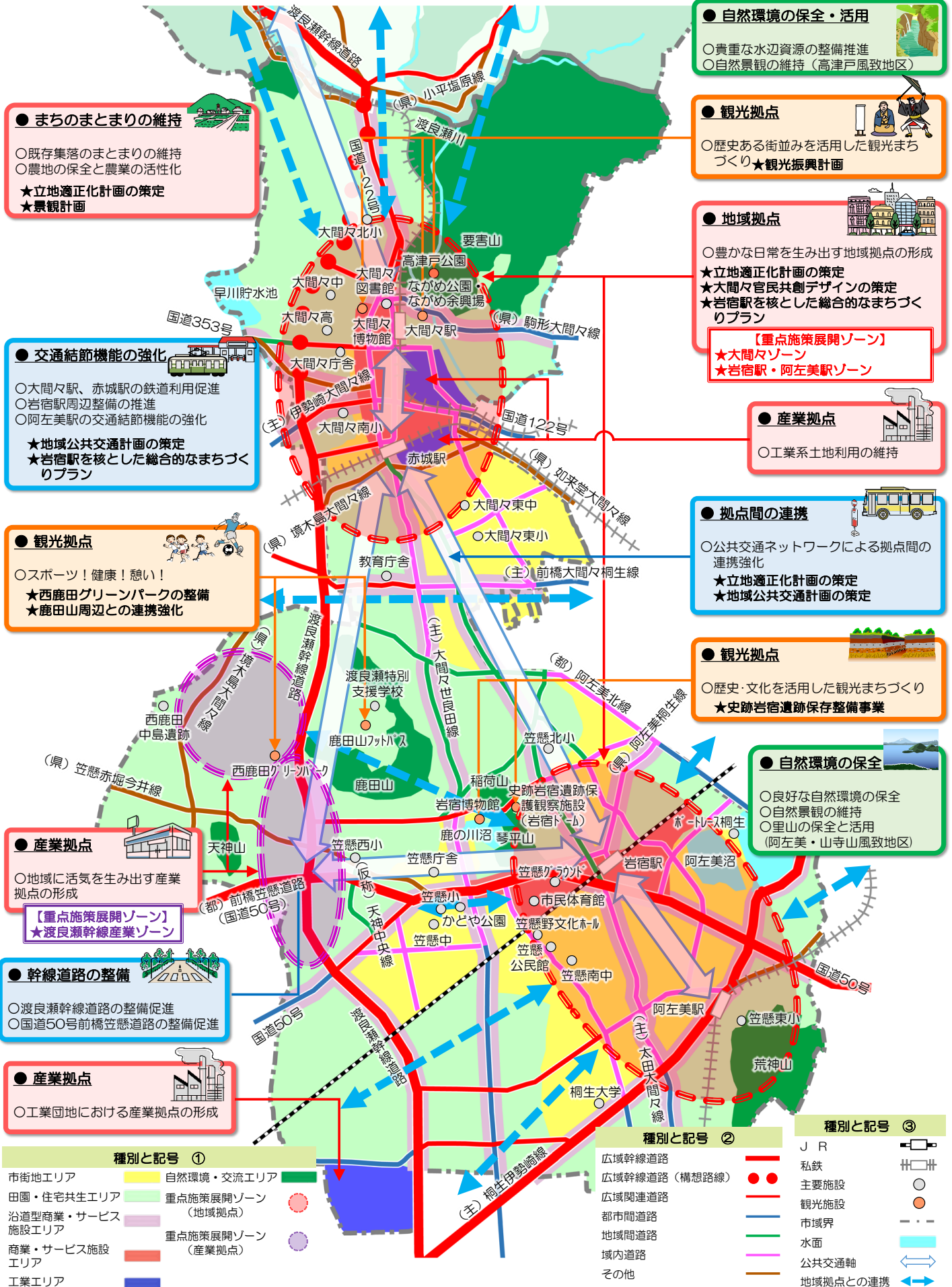
- 岩宿遺跡等の地域資源を活用して観光誘客を促進します。

👤 災害・安全対策の推進

- 「みどり市道路・治水プログラム」に基づき道路冠水・浸水対策を図ります。
- 公共施設や民間施設等を活用して避難場所を確保します。



地域づくり方針図



● まちのまとまりの維持

- 既存集落のまとまりの維持
- 農地の保全と農業の活性化
- ★立地適正化計画の策定
- ★景観計画

● 交通結節機能の強化

- 大間々駅、赤城駅の鉄道利用促進
- 岩宿駅周辺整備の推進
- 阿左美駅の交通結節機能の強化
- ★地域公共交通計画の策定
- ★岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン

● 観光拠点

- スポーツ！健康！憩い！
- ★西鹿田グリーンパークの整備
- ★鹿田山周辺との連携強化

● 産業拠点

- 地域に活気を生み出す産業拠点の形成
- 【重点施策展開ゾーン】
- ★渡良瀬幹線産業ゾーン

● 幹線道路の整備

- 渡良瀬幹線道路の整備促進
- 国道50号前橋笠懸道路の整備促進

● 産業拠点

- 工業団地における産業拠点の形成

種別と記号 ①

市街地エリア	自然環境・交流エリア	重点施策展開ゾーン (地域拠点)	重点施策展開ゾーン (産業拠点)
田園・住宅共生エリア	沿道型商業・サービス施設エリア	商業・サービス施設エリア	工業エリア

種別と記号 ②

広域幹線道路	広域幹線道路 (構想路線)	広域関連道路	都市間道路	地域間道路	域内道路	その他
--------	---------------	--------	-------	-------	------	-----

種別と記号 ③

J R	私鉄	主要施設	観光施設	市域界	水面	公共交通軸	地域拠点との連携
-----	----	------	------	-----	----	-------	----------

● 自然環境の保全・活用

- 貴重な水辺資源の整備推進
- 自然景観の維持 (高津戸風致地区)

● 観光拠点

- 歴史ある街並みを活用した観光まちづくり
- ★観光振興計画

● 地域拠点

- 豊かな日常を生み出す地域拠点の形成
- ★立地適正化計画の策定
- ★大間々官民共創デザインの策定
- ★岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン

【重点施策展開ゾーン】

- ★大間々ゾーン
- ★岩宿駅・阿左美駅ゾーン

● 産業拠点

- 工業系土地利用の維持

● 拠点間の連携

- 公共交通ネットワークによる拠点間の連携強化
- ★立地適正化計画の策定
- ★地域公共交通計画の策定

● 観光拠点

- 歴史・文化を活用した観光まちづくり
- ★史跡岩宿遺跡保存整備事業

● 自然環境の保全

- 良好な自然環境の保全
- 自然景観の維持
- 里山の保全と活用 (阿左美・山寺山風致地区)



岩宿駅前広場整備



阿左美駅

将来に向けて必要なこと

駅を中心とした交通サービスに対する市民の満足度は低く、駅周辺の生活サービスについても十分な機能が備わっていないため、本地域の強みである充実した交通機能を生かしたまちづくりが必要です。

将来像

充実した交通・生活サービスによる気軽・便利を実感しながら暮らせるまち

将来イメージ

- 駅へのアクセスがスムーズになり、鉄道やバスの利用者が増えている
- 駅周辺に新たに建設された商業施設などに市内外から多くの人が集まっている
- 緑や花を楽しみながら市街地を散歩している

地域づくりの方針

生活拠点の利便性向上

- ・「岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン」を推進します。
- ・「みどり市立地適正化計画」の策定や「企業立地促進事業」により商業施設等の都市機能誘導や立地を支援します。

交通拠点の機能強化

- ・岩宿駅駅前広場の整備により公共交通の利便性を向上します。
- ・岩宿駅の橋上化などにより南北の往来を容易にし駅の利便性を向上します。
- ・「みどり市地域公共交通計画」の策定や「電話でバス運行管理事業」により生活拠点と周辺の都市をつなぐ交通ネットワークを構築します。

交通環境の改善

- ・「県道改良事業」と連携して岩宿駅周辺の道路を整備し、渋滞を解消します。
- ・公共交通の充実と周辺道路の整備によりウォークラブルなまちづくりを推進します。

観光の活性化

- ・ポートレース桐生や阿左美沼などの地域資源を活用して観光誘客を促進します。

【岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプランのイメージ】



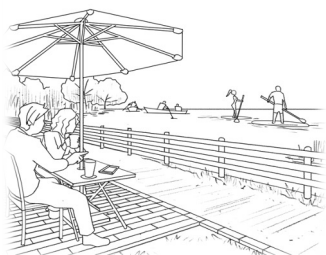
土地利用



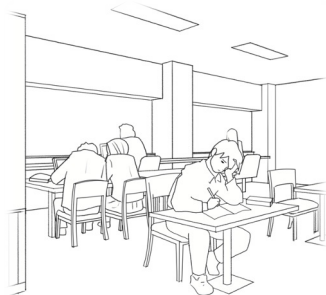
交通体系



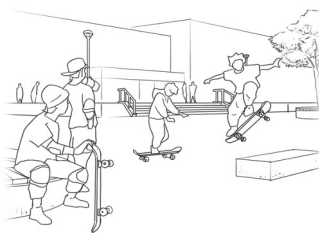
その他の都市環境



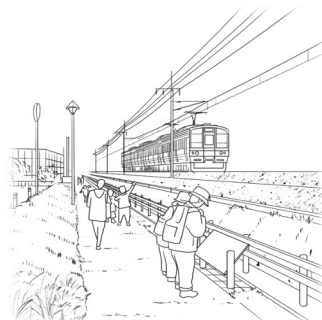
水辺のカフェ・アクティビティ



勉強や飲食ができる多目的スペース



低未利用地を活用したスケートボード場



歩道の設置

地域づくり方針図

●地域拠点

【岩宿駅・阿左美駅】

○豊かな日常を生み出す地域拠点の形成

- ★立地適正化計画の策定
- ★地域公共交通計画の策定
- ★岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン



●交通結節機能の強化

- 岩宿駅周辺整備の推進
- 阿左美駅の交通結節機能の強化

- ★地域公共交通計画の策定
- ★岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン



●拠点間の連携

○公共交通ネットワークによる拠点間の連携強化

- ★立地適正化計画の策定
- ★地域公共交通計画の策定



ウォーカブルなまちづくり

居心地が良く
歩きたくなるまちなか



出典：国土交通省

◆すべての市民が歩いて暮らせるコンパクトな市街地の形成を目指します

Walkable 歩きたくなる

居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたくなる、歩きたくなる。

Eyelevel まちに開かれた1階

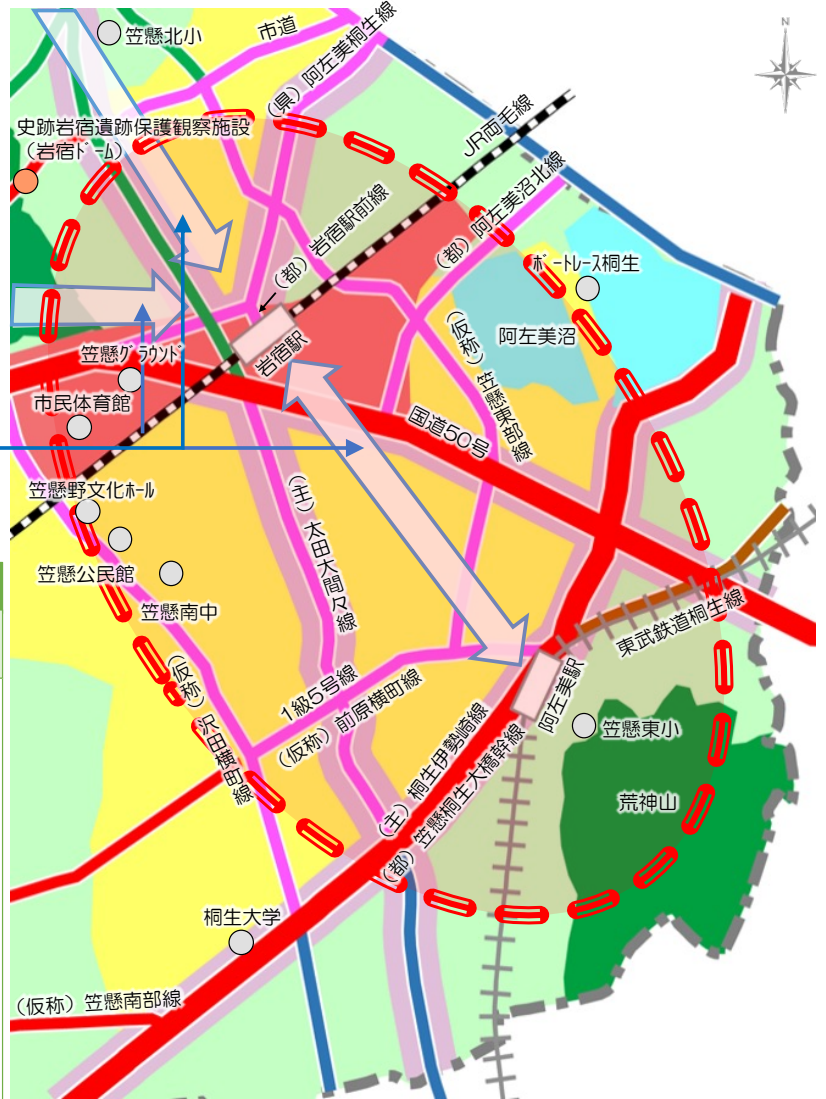
歩行者目線の1階部分等に店舗やラボがあり、ガラス張りで見えたと、人は歩いて楽しくなる。

Diversity 多様な人の多様な用途、使い方

多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存が生まれる。

Open 開かれた空間が心地よい

歩道や公園に、芝やカフェ、椅子があると、そこに居なくなる、留まりなくなる。



※ 重点施策以外で主に取組む施策

■交通結節機能の強化

- ・拠点と周辺都市をつなぐ交通ネットワークを構築します

■営農環境と居住環境の調和

- ・農業と調和した居住環境の確保を図ります

■公園の整備と再生

- ・活用度の高い公園への再編を図ります

■生活環境の改善

- ・効果的に汚水処理環境整備を進めます

■災害・安全対策の推進

- ・道路冠水・浸水対策を図ります

種別と記号

市街地エリア	広域幹線道路	主要施設
田園・住宅共生エリア	広域関連道路	観光施設
沿道型商業・サービス施設エリア	都市間道路	市域界
商業・サービス施設エリア	地域間道路	水面
工業エリア	域内道路	公共交通軸
自然環境・交流エリア	その他	地域拠点との連携
重点施策展開ゾーン (地域拠点)	重点施設	
JR	市域界	
私鉄	水面	

大間々の街並み



ながめ余興場



リノベーションまちづくりワークショップ



将来に向けて必要なこと

歴史的な街並みが残る大間々本町通り周辺では、風情のある街並みや地域資源を生かしたまちづくりが必要です。

将来像

歴史・文化とライフスタイルの変化に合わせて新しい魅力を育み続けるまち

将来イメージ

- 歴史的な街並みや地域資源の活用により、市外から多くの観光客が訪れている
- 商店街に活気があり、日中は多くの買い物客等で賑わっている
- 文化財が適切に管理され、後世に引き継がれている

地域づくりの方針

交通拠点の機能強化

- 「みどり市地域公共交通計画」の策定や「電話でバス運行管理事業」による生活拠点と周辺の都市をつなぐ交通ネットワークを構築します。

歴史や伝統文化の継承

- 「大間々官民共創デザイン」や「みどり市歴史的風致維持向上計画（歴史まちづくり計画）」の策定と、「みどり市景観計画」の取り組みにより、本町通りの歴史的街並みを生かしたまちづくりを進めます。
- 「みどり市公共施設個別施設計画」により大間々博物館等の保全や計画的な維持管理に努めます。

商店街の再生

- 「店舗等利活用促進事業」により使用者の意向を反映した空き店舗等の活用を支援します。
- 「リノベーションまちづくり」により空き店舗や空き地の利活用を図り、商店街の賑わいと活力を創出します。
- 道路など公共空間の利活用・再編によりウォークラブルなまちづくりを推進します。

観光の活性化

- 歴史的街並みや、ながめ余興場等の地域資源を活用して観光誘客を促進します。



交通体系



その他の都市環境

イロトイロマーケット



会場：孫兵衛辻子

サステナブルウィーク



会場：本町通り

ながめ夜市



会場：ながめ余興場

地域づくり方針図

●地域拠点

【大間々ゾーン】

- 豊かな日常を生み出す地域拠点の形成
- ★大間々官民共創デザインの策定
- ★立地適正化計画の策定
- ★地域公共交通計画の策定

●交通結節機能の強化

- 大間々駅、赤城駅の鉄道利用促進
- ★地域公共交通計画の策定

●拠点間の連携

- 公共交通ネットワークによる拠点間の連携強化
- ★立地適正化計画の策定
- ★地域公共交通計画の策定

ウォーカブルなまちづくり

居心地が良く 歩きたくなるまちなか



- ◆すべての市民が歩いて暮らせるコンパクトな市街地の形成を目指します

Walkable 歩きたくなる

居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたい、歩きたくなる。

Eyelevel まちに開かれた1階

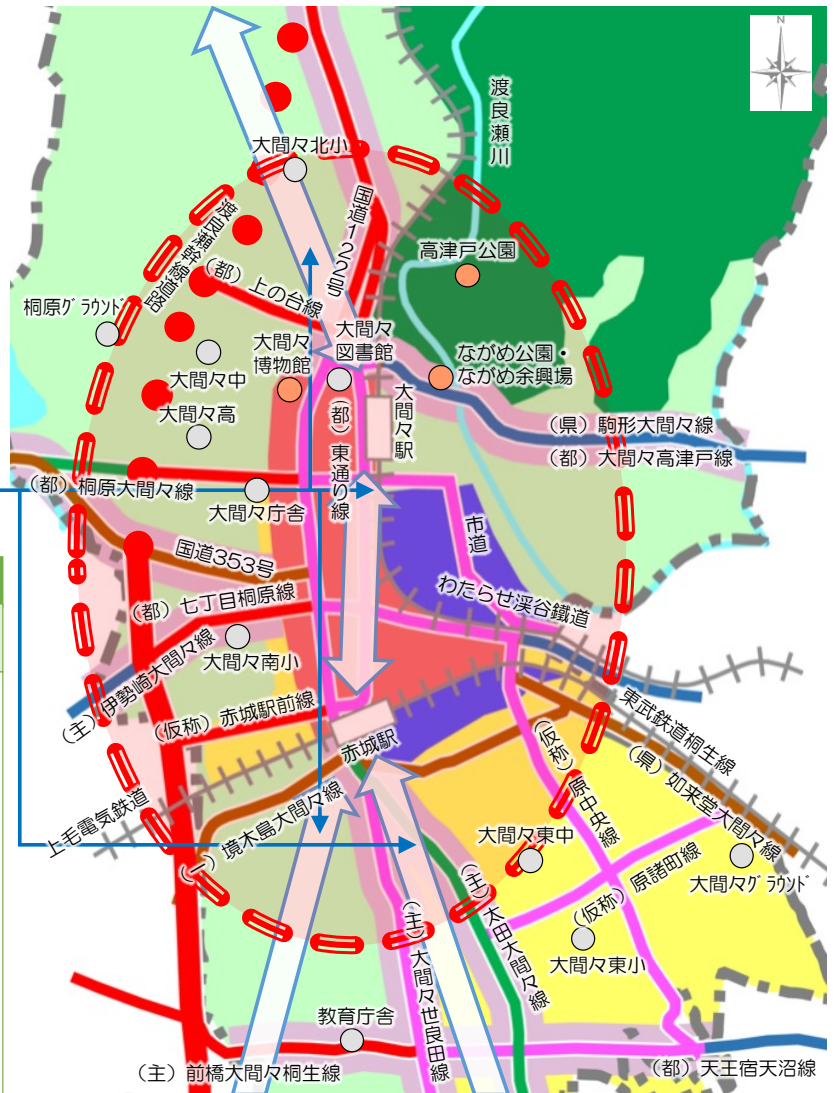
歩行者目線の1階部分等に店舗やラオがあり、ガラス張りで見えれば、人は歩いて楽しくなる。

Diversity 多様な人の多様な用途、使い方

多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共創が生まれる。

Open 開かれた空間が心地よい

歩道や公園に、芝やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。



※ 重点施策以外で主に取組む施策

■まちのまとまりの維持

- ・コンパクトなまちづくりを推進します
- ・使用者の意向を反映した空き家の改修を支援します

■交通結節機能の強化

- ・拠点と周辺都市をつなぐ交通ネットワークを構築します

■公園の整備と再生

- ・活用度の高い公園への再編を図ります

■生活環境の改善

- ・効果的に汚水処理環境整備を進めます

種別と記号

市街地エリア	広域幹線道路	—
田園・住宅共生エリア	広域幹線道路 (構想路線)	●●
沿道型商業・サービス施設エリア	広域関連道路	—
商業・サービス施設エリア	都市間道路	—
工業エリア	地域間道路	—
自然環境・交流エリア	域内道路	—
重点施策展開ゾーン (地域拠点)	その他	—
JR	主要施設	○
私鉄	観光施設	●
	市域界	- - -
	水面	■
	公共交通軸	⇄
	地域拠点との連携	⇄

渡良瀬幹線道路



将来に向けて必要なこと

無秩序な市街化や土地利用の混在を防止しながら、渡良瀬幹線道路や国道50号前橋笠懸道路のポテンシャルを生かしたまちづくりが必要です。

将来像

良好な交通アクセスと産業の集積が生み出す成長と魅力に満ちた輝くまち

将来イメージ

- 企業が次々に市内に進出し、新たに多くの雇用が生まれている
- まとまった農地で効率的な農作業ができています

地域づくりの方針

産業の発展支援

- 「みどり市立地適正化計画」の策定や土地利用規制の導入等により、メリハリのある沿道土地利用を行いながら、まとまった土地の確保による産業系土地利用の誘導と、まちのまとまり以外での市街化の抑制を図ります。
- 産業団地整備等により、既存企業の業務拡大や新たな企業の誘致を推進します。
- 「みどり市景観計画」により周辺の土地利用に応じた沿道景観を形成することで地域全体の魅力を高め、企業活動の活性化及び企業誘致を図ります。

営農環境の確保

- 「人・農地プラン推進事業」による効率的・高収益性の農業への転換促進や、他地域の集団農地の活用と農業拠点化を推進します。

幹線道路の整備促進

- 国道50号前橋笠懸道路や渡良瀬幹線道路等の整備を促進します。
- 「みどり市道路・治水プログラム」に基づき、幹線道路整備と連携して周辺道路の整備を促進します。
- 道路の冠水・浸水対策により産業の災害レジリエンスを向上します。

地域づくり方針図

● **産業拠点**
【渡良瀬幹線産業ゾーン】
 ○地域に活気を生み出す産業拠点の形成

● **幹線道路の整備**
 ○渡良瀬幹線道路の整備促進

● **幹線道路の整備**
 ○国道50号前橋笠懸道路の整備促進

広域図



※ 重点施策以外で主に取組む施策

■ **交通結節機能の強化**

- ・拠点と周辺都市をつなぐ交通ネットワークを構築します

■ **営農環境と居住環境の調和**

- ・農地の保全や適切な土地利用により営農環境の向上を図ります

■ **公園の整備と再生**

- ・西鹿田グリーンパークの整備を推進します

■ **自然環境の保全・活用**

- ・鹿田山周辺の自然環境の保全とフットパスを活用した憩いの空間を創出します

■ **災害・安全対策の推進**

- ・道路冠水・浸水対策を図ります

種別と記号

市街地エリア	広域幹線道路	主要施設
田園・住宅共生エリア	広域関連道路	観光施設
沿道型商業・サービス施設エリア	都市間道路	市域界
商業・サービス施設エリア	地域間道路	水面
工業エリア	域内道路	公共交通軸
自然環境・交流エリア	その他	地域拠点との連携
重点施策展開ゾーン (産業拠点)	〇	
JR	■	
私鉄	■	

北部地域

富弘美術館・草木湖



小平の里親水公園



わたらせ渓谷鐵道



将来に向けて必要なこと

豊かな自然と多くの観光資源が存在する等の魅力を有する反面、人口減少や土砂災害などの災害リスク等の課題を抱えているため、自然の中で安心・快適に暮らし続けるための対策と豊かな自然と観光資源を生かしたまちづくりが必要です。

将来像

恵まれた美しい自然の中でココロとカラダを育む健やかなまち

将来イメージ

- 湖畔にあるカフェで緑に癒されながらのんびりと過ごしている
- 豊かな自然の中で多彩なアウトドア・アクティビティを楽しんでいる
- 山間地のきれいな河川でたくさんの親子連れが水遊びをしている
- きれいな川や湖、沼を守り、次の世代に豊かな自然を引き継いでいる
- 災害に強い安全なまちになり、安心して暮らしている

地域づくりの方針

🏠 まちのまとまりの維持

- ・「みどり市東町地域ビジョン」により転入者等の既存集落への居住誘導を促進します。
- ・「みどり市立地適正化計画」の策定等により地域生活拠点の形成を図ります。
- ・農林業の生産基盤となる農地・山林を適正に保全し、農林業関連事業と連携した良好な作業環境を形成します。
- ・「空き家利活用促進事業」などにより使用者の意向を反映した空き家の改修を支援します。
- ・「空き家バンク制度」による物件紹介を通じた移住定住を促進します。
- ・渡良瀬幹線道路等の広域幹線道路の交通利便性を生かしたまちづくりを進めるため、沿道への土地利用規制の導入等による計画的な土地利用の誘導を図ります。

🚗 公共交通の充実

- ・「みどり市地域公共交通計画」の策定等により、市内中心部や観光拠点と周辺都市をつなぐ交通ネットワークを構築し、高齢者や観光客など誰もが移動しやすい公共交通の実現を目指します。
- ・渡良瀬幹線道路や小平塩原線滝ノ上工区等の整備を促進します。
- ・集落につながる道路の整備を促進し、避難経路を確保します。

🌳 豊かな自然の保全・活用

- ・「みどり市景観計画」により緑豊かで多様な自然環境を保全・活用します。

🚰 生活環境の改善

- ・農業集落排水と合併処理浄化槽等のベストミックスにより効果的に汚水処理環境整備を推進します。

👥 観光の活性化

- ・観光施設の整備推進や計画的な維持管理、地域資源を活用した観光まちづくりを推進します。
- ・滞在型宿泊施設（旧サンレイク草木）を中心に、草木湖周辺や東町の貴重な自然（観光資源）と連携した観光誘客を促進します。

🏠 安全安心な暮らしの確保

- ・「みどり市公共施設個別施設計画」に基づき、老朽化した公共施設の計画的・効率的な維持管理・更新を推進します。
- ・公共施設や民間施設等を活用して避難場所を確保します。



地域づくり方針図



けさかけ橋

●地域拠点

【花輪駅ゾーン】

○地域住民の生活を支える拠点の形成

- ★東町地域ビジョン
- ★立地適正化計画の策定
- ★地域公共交通計画の策定



東町路線バス



日光・足尾との連携



●自然環境の保全・活用

- 良好な自然的土地利用の保全
- 環境保全を前提とした観光振興
- ★景観計画

東沢入駅あじさい祭り



●観光拠点

- 周辺施設連携による観光まちづくり
- ★周辺施設のバリューアップ
- ★滞在型宿泊施設との連携強化
- ★観光振興計画

●観光拠点

○渡良瀬幹線道路から北部地域への玄関口

●まちなまとまりの維持

- 既存集落のままとりの維持
- 農林地の保全と農林業の活性化
- ★立地適正化計画の策定
- ★地域公共交通計画の策定

●幹線道路の整備

○渡良瀬幹線道路の整備促進

小平の里



種別と記号

田園・住宅共生エリア	広域幹線道路	●●
自然環境・交流エリア	広域幹線道路（構想路線）	—
重点施策展開ゾーン（地域拠点）	広域関連道路	—
	その他	—
主要施設	○	—
観光施設	○	—
JR	公共交通軸	⇄
私鉄	地域拠点との連携	⇄
観光拠点	観光拠点の連携	⇄

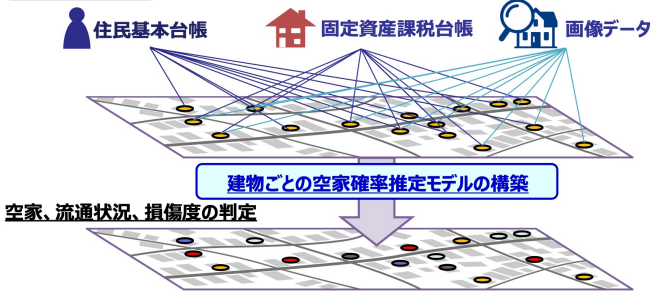
実現に向けた取り組み

● 新技術や各種データを活用した新たな取り組み

新たなまちづくりへの取り組み

- まちのまとまりの維持
 - ・官民が所有するビッグデータ等を活用した効率的な空き家実態把握と空き家利活用促進
- 安全・安心な暮らしの確保
 - ・AI等を活用した高度な災害予測による住民への早期避難情報の伝達
 - ・位置情報データで災害時の避難状況をリアルタイムに把握し効果的な物資等支援
 - ・車両データのリアルタイム分析により交通事故の危険度を識別し運転手等に警告 など

官民データの結集



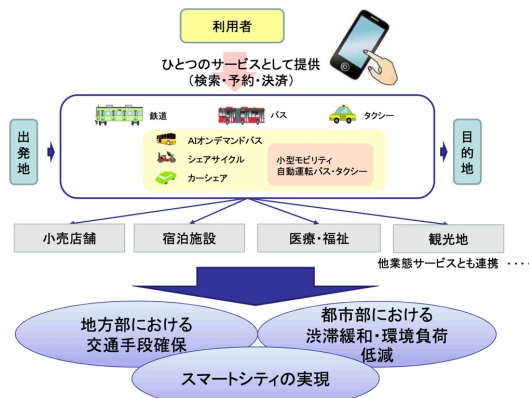
AIを活用した空き家分布調査効率化イメージ
(出典：国土交通省資料)



市民の属性情報や位置情報を活用したデジタル防災実証イメージ
(出典：国土交通省資料)

新たな移動手段への取り組み

- 円滑な交通確保
 - ・MaaS（公共交通機関、自動車、自転車、シェアリングサービスなどを統合して継ぎ目のない移動を提供するサービス）による目的地までの最適な経路や移動手段の選択、異なる交通手段の統合化による利用者の利便性向上
 - ・自動運転バスや小型電動カート等の導入による高齢者や障がい者の移動支援や交通事故の削減、交通渋滞の緩和、地域経済の活性化
 - ・自動運転の活用等による中山間地域における移動性の向上 など



MaaSの概要
(出典：国土交通省資料)



中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービスイメージ
(出典：国土交通省資料)



自動運転バスの公道での実証実験
(出典：国土交通省関東地方整備局資料)



自動運転カートを利用した地域内移動サービス
(出典：国土交通省近畿地方整備局資料)

● 効果的なまちづくり

市民参加の機会充実

アンケート調査やワークショップ、パブリックコメントなど様々な機会を設け、より参画しやすい環境づくりを進めます。

情報発信と意識啓発

広報誌やホームページなど様々な情報媒体を活用しながら情報を発信し、まちづくりに関する情報を積極的に提供します。

市民・事業者・NPOなどへのまちづくり活動支援

市民・事業者・NPO団体に積極的にまちづくり活動に参加してもらうため、市では、幅広い団体への支援を行い官民連携（PPP/PFI）によるまちづくり活動を進めていきます。

関係機関（国・県・周辺市町村）との連携・調整

国や県、近隣都市などと連携を図りながらまちづくりを進めます。またまちづくりに関わりがある大学機関などとも協力し、専門的な見地からまちづくりに関わる各種取り組みを進めます。

庁内の連携

庁内における各担当部署においては、本計画に即して個別計画の策定や具体的な事業を進めます。

● 計画の進行管理と見直し

社会情勢の変化等を的確に把握し、本計画の進捗管理を適切に行うため、PDCAサイクル（P（計画） D（実施） C（評価） A（改善））の考えに基づき、評価・検証を行います。

計画期間内であっても、社会情勢の大きな変化や上位計画の大幅な見直し等本計画の内容に大きく関わる事象が発生した場合は、必要に応じて計画の見直しを行います。

● 連携と協働によるまちづくり

市民の役割

- 都市計画マスタープランに対する理解
- まちづくり活動の実施、積極的な参加
- 地域活動への積極的な参画 など

事業者の役割

- 都市計画マスタープランに対する理解
- まちづくり活動への積極的な参加
- まちづくり活動への貢献 など

行政の役割

- 都市計画やまちづくりに関する情報提供
- 市民・事業者・行政によるまちづくり活動の連携
- まちづくりへの参画のための仕組みの構築 など



Plan（計画）

- ◆ 都市計画マスタープランに基づく各種施策、事業などの実施
- ◆ 個別計画の立案

Act（改善）

- ◆ 評価結果を踏まえ、各種施策、事業や個別の整備計画の見直し
- ◆ 必要に応じて都市計画マスタープランを見直し

Do（実施）

- ◆ 各種施策、事業の実施
- ◆ 市民・事業者・行政の『協働』によるまちづくり

Check（評価）

- ◆ 各種施策・事業の実施状況、基本目標の達成状況を評価
- ◆ 未達成の理由や効果的な施策・事業などについて分析・把握



 **みどり市都市計画マスタープラン**

令和6年3月 発行 みどり市

編集 みどり市都市建設部都市計画課

〒376-0192 みどり市大間々町大間々 1511

電話：0277-76-1903(直通) FAX：0277-76-1951

電子メール：toshikeikaku@city.midori.gunma.jp

